

科目名称：	キャリアデザイン演習Ⅱ	
担当者名：	岡野 絹枝、藤元 宏一、井戸 健敬、矢澤 建明、若月 博延	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
1年次の「基礎教養Ⅰ」「キャリアデザイン演習Ⅰ」を引き継ぎ、実践的な学修を行います。前半は、就職試験対策を行い、採用試験に臨むための直接的な支援をして学生の積極的行動を促します。後半は、将来のキャリアデザインを考える機会として、企業の経営管理者からは職業とライフプラン、専門家からは職業生活における危機管理について学びます。また、自主的に学ぶ方法や手順を修得するために、アクティブラーニング総合演習にも取り組み、社会人基礎力を含めた就業力と地域に関する理解度の向上を図ります。最後に、1年次に自己評価した4スキルの自己評価を再度行い、自己成長度を把握します。		
授業の達成目標・到達目標		
1年次前期から1年半にわたる「基礎教養Ⅰ」「キャリアデザイン演習Ⅰ・Ⅱ」によって、自己理解、職業理解、就職活動から実際の企業で役立つ社会人基礎力までを、アクティブラーニングの手法を取り入れながら、系統立てて修得することが目標です。さらに、この演習Ⅱでは、将来のライフプランを見据えたキャリアデザイン力も修得できるようにしていきます。		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	○
DP(2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)			90	10	100
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)					0
ビジネスDP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）
あり	

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 就職活動対策講座Ⅷ：「作文対策」「面接試験対策～立ち居振る舞い・質疑応答」	シラバスを熟読して授業全体の概要を把握しておく。	10分
第2回 就職活動対策講座Ⅸ：「面接試験演習①～立ち居振る舞い編」	「面接試験対策～立ち居振る舞い編」マニュアルを予習しておく。	20分
第3回 就職活動対策講座Ⅹ：「面接試験演習②～質疑応答編」	「面接試験対策～質疑応答編」マニュアルを予習しておく。	20分
第4回 アクティブラーニングⅢ-1：「グループ・ディスカッションの方法学習①」	アクティブラーニングの基本を復習しておく。	20分
第5回 アクティブラーニングⅢ-2：「グループ・ディスカッションの方法学習②」	前回内容の復習。	20分
第6回 アクティブラーニングⅣ-1：「総合演習：地域を知るプロジェクト①」全体講話	白山市について、事前に調べておく。	30分
第7回 アクティブラーニングⅣ-2：「総合演習：地域を知るプロジェクト②」講話(特色1)	次回講話担当企業についてHP等で調べておく。	30分
第8回 アクティブラーニングⅣ-3：「総合演習：地域を知るプロジェクト③」講話(特色2)	次回講話担当企業についてHP等で調べておく。	30分
第9回 アクティブラーニングⅣ-4：「総合演習：地域を知るプロジェクト④」G討議、発表準備1	第5回、6回で取ったメモについて確認し、意見をまとめておく。	60分
第10回 アクティブラーニングⅣ-5：「総合演習：地域を知るプロジェクト⑤」発表準備2	発表準備に必要な資料等を準備しておく。	60分
第11回 アクティブラーニングⅣ-6：「総合演習：地域を知るプロジェクト⑥」発表	発表練習。	30分
第12回 キャリア形成講座Ⅰ：講話「社会人の基礎知識」 専門講師	講話の専門内容についてWeb等で調べておく。	20分
第13回 キャリア形成講座Ⅱ：講演「ビジネスキャリアとライフプラン」 企業経営者等	講話担当講師の企業について、Web等で調べておく。	20分
第14回 キャリア形成講座Ⅲ：講演「ライフプランにおける危機管理」 専門講師	日常生活におけるリスクについてどのようなものがあるか調べておく。	20分
第15回 セルフアセスメント総括(自己再評価)：「1年次評価4スキル項目の再評価・検証」	1年次に自己評価した4スキル項目について内容を確認しておく。	20分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。  
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

#### 成績評価の方法・基準

定期試験は、100%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。  
レポート内容90%、授業への貢献・積極的関与10%で評価する。

#### 課題に対するフィードバック

授業内で提出したレポートについて、評価し返却する。

#### 教科書・参考書

必要な資料等はその都度配付する。